



令和4年度 ニセコ町当初予算案の概要

令和4年2月
総務課財政係

1 予算規模

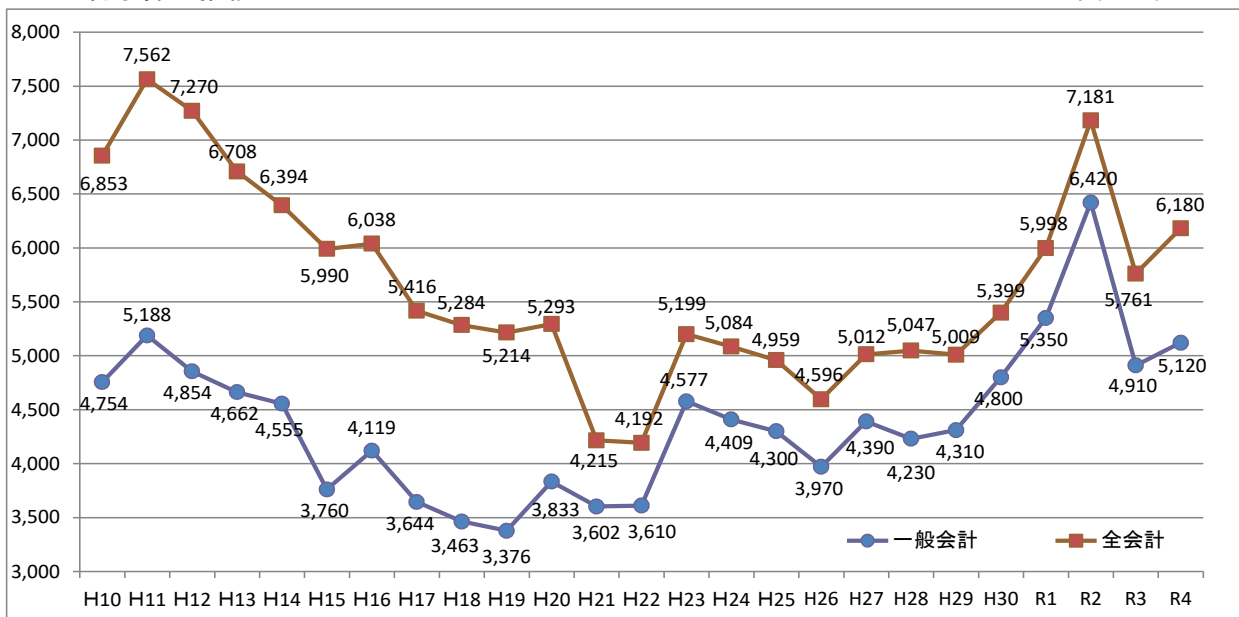
<当初予算の内訳>

単位：万円、%

会計	4年度予算額		3年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C	当初予算比		現計予算比		
				A-B	増減率(%)	A-C	増減率(%)	
一般会計	512,000	491,000	588,537	21,000	4.3	△ 76,537	△ 13.0	
国民健康保険事業特別会計	21,200	21,900	21,900	△ 700	△ 3.2	△ 700	△ 3.2	
後期高齢者医療特別会計	5,750	6,100	6,100	△ 350	△ 5.7	△ 350	△ 5.7	
簡易水道事業特別会計	54,100	37,400	42,931	16,700	44.7	11,169	26.0	
公共下水道事業特別会計	23,800	19,000	19,583	4,800	25.3	4,217	21.5	
農業集落排水事業特別会計	1,160	670	670	490	73.1	490	73.1	
合計	618,010	576,070	679,721	41,940	7.3	△ 61,711	△ 9.1	
羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署	17,650	20,240	20,128	△ 2,590	△ 12.8	△ 2,478	△ 12.3	

<当初予算の推移>

単位：百万円



2 当初予算案の概要

令和4年度予算においても「ニセコ町まちづくり基本条例」の精神を基に、まちづくりの指針となる第5次ニセコ町総合計画の基本理念「環境創造都市ニセコ」と5つの将来像のもと、これまで培ってきたまちづくりの基盤を更に充実させ、町民の生活に密着し、持続可能な地域発展に資する諸施策に取り組むことを基本方針として予算編成を進めてきました。

予算規模の大きな投資的事業については、①着手継続事業の確実な推進、②将来の持続的発展に向けた整備、③安心安全を支える社会インフラの整備、④子育て・教育施設の整備、⑤住みやすさ・暮らしやすさの環境整備と優先順位付けをし、将来の安定的な持続発展のため、起債計画や財政状況を踏まえながら中長期的視点を持った予算計上を行いました。このほか別枠事業として、築45年が経過する消防庁舎の防災拠点機能を強化するため、再整備に向けた基本計画の策定を進めます。

《上記の優先順位付けによる令和4年度の主な投資的事業》

別枠：消防庁舎再整備

- ①：国営緊急農地再編整備
- ②：ニセコビュープラザ再整備、水道水源整備
- ③：町道歩道整備、橋梁長寿命化、道路排水施設改良、河川災害防止対策、水道配水管更新、水道施設更新、下水道管理センター設備更新、指定避難所環境改善 など
- ④：学習交流センター長寿命化
- ⑤：倶知安厚生病院第2期整備費用負担、公営住宅改善 など

なお、予算編成過程における職員向けの予算編成説明会、主要事業ヒアリング、予算ヒアリングなどを全て公開で実施してきました。また、予算の議決後は町民向けの予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」を全戸配布することにより、予算内容をお伝えします。まちづくり基本条例のもと、引き続き予算編成過程の公開とわかりやすい情報提供に努めます。

令和4年度の各会計予算総額は61億8,010万円で、前年度比+4億1,940万円(+7.3%)となりました。一般会計予算額は51億2,000万円で、前年度比+2億1,000万円(+4.3%)となりました。主な要因は、役場旧庁舎の解体工事によるものです。

ニセコ町の価値を将来に継承していくため、予算の「質」を高めながら令和4年度は次の事業に取り組み、ニセコ町のまちづくりをより一層充実させます。

【農業生産基盤整備】		
国営緊急農地再編整備		7,606万円 ^②
【農業振興】		
多面的機能支払交付金		3,944万円 ^②
農業次世代人材投資資金		1,275万円 ^②
【観光振興】		
道の駅ニセコビュープラザ再整備（基本設計等）		2,533万円 ^④
GSTC（持続可能な観光）推進		3,518万円 ^④
観光振興		5,061万円 ^②
【商工業振興】		
商工業振興（綺羅カードポイント10倍還元セール等）		3,500万円 ^④
【社会福祉の充実】		
社会福祉事業補助 （社会福祉協議会、グループホーム、居宅介護支援等）		4,968万円 ^②
【母と子の健康推進】		
妊婦健診・産後ケア・不妊不育治療費助成		851万円 ^②
【子育て支援の充実】		
子ども医療費拡大助成 （18歳まで子ども医療費無料化、所得制限なし）		953万円 ^②
ファミリーサポートセンター運営		753万円 ^④
【地域医療の確保】		
倶知安厚生病院第2期整備費用負担金		3,166万円 ^②
倶知安厚生病院救急医療等体制整備補助		1,571万円 ^②
【地域防災拠点整備】		
消防庁舎再整備（基本計画、建設移転先解体工事等）	1億4,793万円 ^④	
指定避難所環境改善（幼児センター、ニセコ駅前温泉綺羅乃湯）		3,623万円 ^④
【環境対策】		
環境政策・気候変動対策・水資源保全		851万円 ^②
環境負荷低減モデル集合住宅整備促進補助		1,200万円 ^②
【SDGs推進】		
SDGs推進 （持続可能なまちづくりの推進、地域資源活用に向けた体制構築等）		3,748万円 ^{④④}
【教育環境の充実】		
学習交流センター長寿命化		2,330万円 ^④
【地域づくりの人材確保】		
地域おこし協力隊	1億4,973万円 ^④	
集落支援員		2,081万円 ^④
国際交流員・外国語指導助手		2,983万円 ^②
【生活基盤の整備】		
デマンドバス運行		2,792万円 ^④
地域公共交通最適化実証運行		1,396万円 ^②
町道等整備改修（ニセコ駅前歩道整備等）		7,021万円 ^{④④}
橋梁長寿命化（第1号橋、モイワ橋等）		5,200万円 ^④
公営住宅改善（中央団地5・6号棟実施設計）		825万円 ^④
【水道・下水道施設の整備 ※特別会計】		
水道施設更新	3億2,305万円 ^{④④}	
（市街地区・曾我地区配水管更新、水道設備更新等）		
水道水源整備（市街地区基本設計等）	4,300万円 ^④	
下水道管理センター設備更新		4,989万円 ^④
公営企業会計移行（簡水会計、下水会計）		2,572万円 ^④

一般会計予算案の概要

【歳入】

- 町税は、まず町民税について、個人町民税の徴収率向上を見込み1億9,835万円（前年度比+213万円）、固定資産税は、昨年新型コロナウイルス徴収猶予措置の終了に伴い4億6,801万円（前年度比△1,678万円）を計上しています。入湯税は、観光客の落ち込みから2,435万円（前年度比△365万円）を見込み、軽自動車税やたばこ税を含めた町税総額は7億3,864万円（前年度比△1,558万円）となりました。
- 地方交付税は、23億1,000万円（前年度比+2億600万円）を計上しています。普通交付税は、令和3年度の追加交付を除く交付実績と地方財政計画に基づく算定により、19億8,000万円（前年度比+1億4,600万円）を見込みました。特別交付税については、指定避難所の環境改善や地方創生推進交付金の活用による算定額増加を見込み、3億3,000万円（前年度比+6,000万円）を計上しています。
- 町債は、消防庁舎再整備、ニセコ駅前歩道整備、学習交流センター長寿命化、倶知安厚生病院第2期整備費用などの借入金を計上しました。また、臨時財政対策債（普通交付税の国からの交付不足を補う借入金）は、4,500万円（前年度比△7,500万円）を見込んでいます。このほか過疎ソフトなどの借り入れを含め、町債総額は3億6,810万円（前年度比△2,260万円）を見込んでいます。

【歳出】

- 普通建設事業費は、4億3,186万円（前年度比+4,921万円）となりました。主な要因は、消防庁舎再整備の移転先となる役場旧庁舎の解体工事によるものです。投資的事業については、今後も優先順位付け方針に基づく重点的な予算配分と、中長期的視点を持ちながら計画的に事業を実施していきます。
- 人件費は、11億7,425万円（前年度比△4,314万円）となりました。主な要因は、一般職員と会計年度任用職員の退職・採用並びに人事院勧告に伴う期末手当の減額によるものです。
- 公債費は、6億9,913万円（前年度比△2,025万円）となりました。主な要因は、新型コロナウイルスに伴う猶予特例債の償還完了によるものです。公債費の増加は将来の財政圧迫の一因となることから、負担が過度に拡大しないよう留意するほか、中長期的に公債費が減少となるよう起債計画を定め、財政状況に応じた調整を図っていきます。
- 補助費等は、8億6,813万円（前年度比+7,800万円）となりました。主な要因は、GSTC推進事業の実施や地域活性化起業人の受け入れによるものです。

特別会計予算案の概要

特別会計に対する一般会計繰出金は、合計で2億8,077万円（前年度比+1,359万円）となりました。主な要因は、簡易水道事業特別会計への繰出金6,994万円（前年度比+1,682万円）によるものです。今後も施設老朽化による経費の増加が予想されますが、予防保全補修や計画的な更新により将来コストの抑制に努めます。

また、国民健康保険事業会計の任意繰出金（収支不足を補うための補填金）は引き続き計上していません。

○国民健康保険事業特別会計予算額は、2億1,200万円で前年度比△700万円（△3.2%）となりました。主な要因は、後志広域連合負担金の減額によるものです。また、保険料の収支不足に対して国民健康保険基金繰入金243万円（前年度比△177万円）を計上することにより、収支均衡を図ります。

○後期高齢者医療特別会計予算額は、5,750万円で前年度比△350万円（△5.7%）となりました。主な要因は、北海道後期高齢者医療広域連合負担金の減額によるものです。

○簡易水道事業特別会計予算額は、5億4,100万円で前年度比+1億6,700万円（+44.7%）となりました。主な要因は、大規模事業となる国道5号線の配水管更新工事によるものです。このほか老朽化が進む水道施設の維持補修や更新を実施し、安心安全な水道水の供給に努めます。また、将来のまちづくりを見据え、市街地区の水源拡張整備に向けた基本設計を行います。

○公共下水道事業特別会計予算額は、2億3,800万円で前年度比+4,800万円（+25.3%）となりました。主な要因は、下水道管理センター設備更新工事によるものです。

○農業集落排水事業特別会計予算額は、1,160万円で前年度比+490万円（+73.1%）となりました。主な要因は、広域処理を行う蘭越町昆布地区終末処理場の設備更新によるものです。

3 一般会計の款別・性質別予算

<歳入款別>

単位：万円、%

歳 入 (款 別)							
款	区 分	本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比	
						本年度	前年度
1	町税	73,864	75,422	△ 1,558	△ 2.1	14.4	15.4
2	地方譲与税	5,730	5,640	90	1.6	1.1	1.1
3	利子割交付金	40	50	△ 10	△ 20.0	0.0	0.0
4	配当割交付金	120	110	10	9.1	0.0	0.0
5	株式等譲渡所得割交付金	100	80	20	25.0	0.0	0.0
6	法人事業税交付金	900	650	250	38.5	0.2	0.1
7	地方消費税交付金	11,600	10,300	1,300	12.6	2.3	2.1
8	ゴルフ場利用税交付金	200	40	160	400.0	0.1	0.0
9	環境性能割交付金	320	400	△ 80	△ 20.0	0.1	0.1
10	地方特例交付金	300	360	△ 60	△ 16.7	0.1	0.1
11	地方交付税	231,000	210,400	20,600	9.8	45.1	42.9
12	交通安全対策特別交付金	60	80	△ 20	△ 25.0	0.0	0.0
13	分担金及び負担金	2,446	2,408	38	1.6	0.5	0.5
14	使用料及び手数料	15,837	16,595	△ 758	△ 4.6	3.1	3.4
15	国庫支出金	36,772	30,333	6,439	21.2	7.2	6.2
16	道支出金	24,763	23,011	1,752	7.6	4.8	4.7
17	財産収入	3,104	2,724	380	14.0	0.5	0.5
18	寄附金	3,640	3,000	640	21.3	0.7	0.6
19	繰入金	40,810	46,730	△ 5,920	△ 12.7	8.0	9.5
20	繰越金	5,000	4,000	1,000	25.0	1.0	0.8
21	諸収入	18,584	19,597	△ 1,013	△ 5.2	3.6	4.0
22	町債	36,810	39,070	△ 2,260	△ 5.8	7.2	8.0
歳 入 合 計		512,000	491,000	21,000	4.3	100.0	100.0

<歳出款別>

単位：万円、%

歳 出 (款 別)							
款	区 分	本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比	
						本年度	前年度
1	議会費	4,341	4,427	△ 86	△ 1.9	0.9	0.9
2	総務費	173,733	162,852	10,881	6.7	33.9	33.2
3	民生費	55,406	52,443	2,963	5.6	10.8	10.7
4	衛生費	43,006	37,058	5,948	16.1	8.4	7.5
5	労働費	213	219	△ 6	△ 2.7	0.0	0.0
6	農林水産業費	21,951	20,413	1,538	7.5	4.3	4.2
7	商工費	19,111	11,901	7,210	60.6	3.7	2.4
8	土木費	54,146	63,707	△ 9,561	△ 15.0	10.6	13.0
9	消防費	17,627	19,732	△ 2,105	△ 10.7	3.4	4.0
10	教育費	52,153	45,910	6,243	13.6	10.2	9.3
11	災害復旧費	100	100	0	0.0	0.0	0.0
12	公債費	69,913	71,938	△ 2,025	△ 2.8	13.7	14.7
13	予備費	300	300	0	0.0	0.1	0.1
歳 出 合 計		512,000	491,000	21,000	4.3	100.0	100.0

歳 出 (性 質 別)								
区 分		本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比		
						本年度	前年度	
經常的經費	義務的經費	人件費	117,425	121,739	△ 4,314	△ 3.5	22.9	24.8
		扶助費	28,272	27,519	753	2.7	5.5	5.6
		公債費	69,913	71,938	△ 2,025	△ 2.8	13.7	14.7
		小 計	215,610	221,196	△ 5,586	△ 2.5	42.1	45.1
	物件費	旅費	2,708	2,739	△ 31	△ 1.1	0.5	0.6
		交際費	413	413	0	0.0	0.1	0.1
		需用費	19,967	19,251	716	3.7	3.9	3.9
		役務費	4,846	4,825	21	0.4	0.9	1.0
		委託料	49,146	40,816	8,330	20.4	9.6	8.3
		備品費	2,874	4,687	△ 1,813	△ 38.7	0.6	0.9
		その他	15,899	13,385	2,514	18.8	3.1	2.7
		小 計	95,853	86,116	9,737	11.3	18.7	17.5
	維持補修費	24,786	21,979	2,807	12.8	4.8	4.5	
	補助費等	86,813	79,013	7,800	9.9	17.0	16.1	
計	423,062	408,304	14,758	3.6	82.6	83.2		
臨時的經費	普通建設事業費	補助事業費	15,004	21,777	△ 6,773	△ 31.1	2.9	4.4
		単独事業費	28,182	16,488	11,694	70.9	5.5	3.4
		道営事業費	0	0	0	0.0	0.0	0.0
		国直轄負担金	0	0	0	0.0	0.0	0.0
		小 計	43,186	38,265	4,921	12.9	8.4	7.8
	災害復旧事業費	100	100	0	0.0	0.0	0.0	
	投資及び出資金	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
	貸付金	810	1,010	△ 200	△ 19.8	0.2	0.2	
	積立金	3,349	3,603	△ 254	△ 7.0	0.7	0.7	
	繰出金	41,193	39,418	1,775	4.5	8.0	8.0	
	予備費	300	300	0	0.0	0.1	0.1	
計	88,938	82,696	6,242	7.5	17.4	16.8		
歳 出 合 計		512,000	491,000	21,000	4.3	100.0	100.0	

4 主な取組み

コロナ禍に対応しつつ、攻めの経済を維持

①国営緊急農地再編整備 継

基幹作物の安定生産と重点作物の定着による収益性向上を目指し、農地の区画整理や傾斜改良、用排水路の一体的な整備を行います。整備計画は全体で1,490haとなっており、今後も農地集積の権利調整を担う換地計画の作成を進めます。また、夏期施工などによる農業者の所得損失を緩和するため、国の制度を活用した支援を引き続き行います。

なお、国営緊急農地再編整備事業による後年の財政負担については、基金を毎年積み立てており、計画的に平準化を図っています。

②農業多面的機能の促進 継

農業が持つ多面的機能を発揮するため、協定を結んだ地域の共同活動や地域資源向上を図る活動に対し、国50%、道25%、町25%を支援します。

③農業担い手対策 継

農業担い手対策として、就農準備や経営開始時の不安定な経営確立を図るための支援を行います。また、新たな農業経営体を確保するため、経営計画の基準を満たす小規模経営就農者や農業大学の進学者に対する貸付制度を実施します。

④高品質米・酒米生産の推進 継

クリーン農業と高品質米の産地定着のほか、酒米の生産を支援するため、一定のタシロ基準をクリアした米・酒米生産者に対する補助制度を継続します。

⑤持続可能な観光の推進 拡

GSTCの推進により、持続可能な観光モデルの構築を目指します。また、国際的な視点に立った観光地として持続し続けるため不可欠な財源として、宿泊税の導入を進めます。

このほか、道の駅ニセコビュープラザの再整備や観光体制の強化に向けた地域活性化起業人の受け入れを継続するなど、専門的な技能の蓄積と魅力ある観光地づくりに向け、実効性のある取り組みを行います。

⑥ニセコ観光圏の推進 継

倶知安町、蘭越町と共に広域で取り組むニセコ観光圏について、ニセコエリア全体としての地域ブランド戦略を推進します。引き続き、中核となる人材育成やニセコエリアで観光業務に従事するスタッフのトレーニング、温泉地活用、他団体と連携した海外プロモーションやサイクルプロモーションの展開に取り組めます。

⑦域内消費の拡大 **拡**

消費意欲の向上と商業の活性化のほか、子育て家庭への生活支援を目的としたキッズカードに対する支援を引き続き行います。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、町内の経済に大きなダメージを与えていることから、綺羅カード加盟店でポイント10倍還元セールを実施し、域内消費を喚起します。

誰もが健やかに笑顔で暮らせるまちづくり

①予防接種の推進と子ども医療費の無料化 **継**

1歳から就学前までの小児への感染症対策として、法律に基づく定期予防接種のほか、おたふくかぜやインフルエンザなどの任意予防接種を支援します。

また、18歳までの子ども医療費について、所得制限を撤廃し無料化する取り組みを継続実施します。

②母と子の健康推進 **継**

新生児の聴覚異常の早期発見と早期治療につなげる新生児聴覚検査のほか、妊婦健診、不妊不育症治療の助成を行います。また、助産師による産後ケアについて、引き続き3回訪問へと回数を継続し、ケアの充実を図ります。

③子育て支援の充実 **新・拡**

ゴールデンウィークと年末年始の長期休日子ども預かり事業を継続して行うほか、子どもの送迎や一時的な預かりを担うファミリーサポートセンター事業を新たに開始します。ニセコこども館の受入れについては、引き続き小学校6年生までの利用を可能とします。

このほか保護者の負担軽減として、第3子目以降の学校給食費免除や小学校1年生に対する副教材の支援を行います。また、子ども達が購入するリフト券やシーズン券の助成のほか、小学校1～3年生の保護者に対するリフト券の助成を実施します。

④高齢者福祉対策 **継**

社会福祉協議会による在宅高齢者の介護事業や移送事業の運営経費を支援します。また、配食事業については、町内業者と連携を図り高齢者の見守りを合わせて実施します。

⑤グループホーム運営支援 **継**

介護スタッフによる食事、入浴等の生活支援や機能訓練により、住み慣れた地域で安心して共同生活ができるよう認知症高齢者グループホームの運営経費を支援します。

⑥健康診査の無料化 継

一定の障がいのある65歳以上及び75歳以上の特定健診については、受診者の負担軽減と受診率向上につなげるため無料とします。

また、国民健康保険事業として、病気の早期発見による重症化の予防や医療費の抑制を図るため、40歳以上の特定健診に要する一部費用の無料化を継続します。

⑦地域医療の確保 継

地域医療や救急医療の確保など、倶知安厚生病院の赤字補填を行うため、病院所在地である倶知安町を中心とした近隣町村と運営経費を支援します。また、倶知安厚生病院第2期整備費用負担金として、令和4年度に実施する既存棟の改修費用を予算計上しています。このほかニセコ医院の医療設備に係る保守費用の支援も引き続き行います。

環境に優しいニセコの創造

①持続可能なまちづくりの推進 新・拡

近年の人口増加に対応するため、市街地近郊の9haの土地に環境配慮型の街区を整備します。令和4年度は実施主体の㈱ニセコまちによる造成工事や販売活動を進め、町では町道及び下水道のインフラ整備に取り組みます。

このほか地方創生推進交付金を活用し、共感や多様な連携による持続可能なまちづくりを推進するための事業を新たに開始します。

②林業振興 新・拡

森林の公益的機能を重視した森林づくりを目指し、森林組合等と連携しながら民有林の整備や除間伐を支援します。

また、小規模な林業関係組織を立ち上げ、町内外事業者との連携体制の構築、資金調達の仕組みづくり、当該組織で働く人材確保、町産材の伐採から製品の検討などを進めます。

③環境負荷低減型民間集合住宅の整備促進 継

民間集合住宅の環境負荷低減の取組みや優良なストック形成などを促進するため、断熱性能や遮音性能の高い基準を満たす集合住宅に対し、建設費の一部を助成します。

④環境と調和した農業の推進 継

堆肥センターを中心とする資源循環型のクリーン農業を推進するため、完熟堆肥流通促進補助のほか、コンポスト堆肥を農業者や町民に還元することで、更なる循環型農業の推進や環境意識の醸成につなげます。

豊かな心と個性ある文化を育む

①教育環境の充実 **拡**

コミュニティスクールの推進と、各学校や幼児センターが連携したニセコスタイルの一貫教育に取り組みます。そのための体制づくりとして、スクールコーディネーターの継続配置を行います。また、個別配慮が必要な児童生徒の学習支援として特別支援員を増員配置するほか、学校生活における児童生徒の心のケアに携わるスクールカウンセラーを引き続き派遣します。

学習面では、各学校に大型表示ディスプレイを配置することで、1人1台パソコンと連動した授業が行えるよう学びの環境改善を行います。施設面では、学習交流センターの長寿命化、近藤小学校の女子トイレ洋式化、ニセコ中学校及びニセコ高校に網戸の設置を行います。

②外国語教育の推進 **継**

幼児期から国際理解と英語教育による国際感覚を醸成するため、外国語講師を継続配置します。また、ニセコ高校における修学旅行では、旅行先をマレーシアとして現地ホテルスクールとの連携によるホテル実習体験などを実施し、国際社会に通用する人材育成に取り組みます。

③国際化の推進 **継**

国が行うJETプログラムを活用し、国際交流員（CIR）5名と外国語指導助手（ALT）2名の派遣を受け入れます。外国語刊行物の編集・翻訳や交流活動の企画・立案、各学校での英語・国際教育により文化交流の機会を創出し、地域の国際化を図ります。

④スポーツ選手による指導・交流 **継**

北海道日本ハムファイターズとの連携による野球教室やニセコに縁のあるスポーツ選手（スキー、陸上、ゴルフ等）を招き、本物の選手に触れることで運動技術・知識・意欲の向上を図ります。

安全で安心な暮らしを支える

①防災・災害体制の強化 **新**

災害時の防災機能を十分に備えた拠点整備として、築45年が経過する消防庁舎の再整備に着手します。令和4年度は、基本設計や建設移転先となる役場旧庁舎の解体工事を実施します。このほか指定避難所となっている幼児センター及びニセコ駅前温泉綺羅乃湯の暖房設備老朽化に伴う更新工事を行います。

②消防・救急活動の強化 拡

救急救命士の救急活動により、器具気道確保や静脈路確保、薬剤投与の救命措置を行い、蘇生率向上に努めます。また、消防団員の報酬について、羊蹄山ろく消防組合の新たな基準額に合わせた見直しを行います。

③コミュニティFMの推進 継

町民参加による地域密着型の放送局「ラジオニセコ（周波数76.2MHz）」について、ラジオパーソナリティの研修育成を図りながら、行政情報や防災情報、議会放送に加え、地域・観光情報を幅広くお知らせするための運営経費を支援します。

④消費生活対策 継

不当な勧誘などの生活相談に対応するため、倶知安町を除く周辺7町村による「ようてい地域消費生活相談窓口」を共同運営します。

⑤地域交通の確保 拡

デマンドバスの運行経費を支援し、域内交通の安定確保と利便性の向上に取り組みます。また、スクールバスの滞在緩和に向けた新たな取り組みとして、デマンドバスの朝一運行を行い、郊外に住む子ども達の通学環境の改善を図ります。

このほか自家用車を活用した助け合い交通の実証試験や、周遊バスとスキーバスを統合したニセコウインターシャトルの運行試験を引き続き実施します。

⑥道路交通網の改善 新・拡

ニセコ駅前歩道整備のほか、第1号橋やモイワ橋の橋梁長寿命化を進めます。このほか道路維持管理計画に基づく予防保全補修について、制度延長された有利な起債を活用しながら適正な維持管理に努めます。

また、令和4年度からは除雪機械のオペレーター不足に対応するため、免許取得費への支援を新たに開始します。

⑦公営住宅の住環境改善 新

中央団地5・6号棟の長寿命化改善を図るため実施設計に着手します。このほか公営住宅の営繕工事や突発修繕に対応し、住環境の改善に努めます。

⑧上下水道施設の拡張・更新 新・拡

上下水道施設の計画的な更新を進めます。令和4年度は市街地区・曾我地区配水管更新（耐震化）、老朽化に伴う水道設備更新、下水道管理センター設備更新のほか、広域処理を行う蘭越町昆布地区終末処理場の設備更新を行います。

未来を見据えた行財政の基盤づくり

①総合計画によるまちづくり **拡**

第5次二セコ町総合計画に掲げる「環境創造都市二セコ」の基本理念のもと、自治創生総合戦略、SDGs 未来都市計画、環境モデル都市第2次アクションプラン、強靱化地域計画など重要な計画に基づくまちづくりを推進します。また、令和6年度の第6次総合計画策定に向けた町民アンケートの実施や現行計画の検証を行います。

②戦略的な行財政改革 **拡**

国の地方財政計画や町計画に基づき、戦略的な行財政改革に努めます。今後は限られた財源の中で公共投資の最適化を図ることが不可欠であり、最も効率的で効果的な方法を検証しながら透明性の高い行財政運営を行います。

また、過疎地域からの卒業を見据えた財源確保を強化すべく宿泊税の導入を進めます。ふるさとづくり寄付については、地域産品の一層の充実強化を図り、寄付者の思いが地域へとつながり、魅力あるまちづくりが展開できるよう今後も節度ある運用を目指します。企業版ふるさと納税についても、新たな財源確保として二セコ町のまちづくりに共感していただける企業との多様な連携の構築に努めます。

③地域づくりの人材確保 **拡**

地域おこし協力隊や集落支援員の制度を活用し、地域の課題解決と定住人口の増加を目指します。地域づくりの担い手には、自らの主体性を生かし、地域との創造的摩擦を乗り越えながら地域力向上へとつながるよう町としてもサポートしていきます。なお、地域おこし協力隊及び集落支援員に要する経費については、財源措置として特別交付税が交付されます。

⑤町税等収納対策の強化 **継**

コンビニエンスストアやスマホアプリを利用した納税、ネット銀行の口座振替の推進など、多様な納税環境の充実に努めます。

また、滞納者に対して早期からきめ細やかな催告を行うとともに、税を納付できる力を早期に見極め、経済力があっても納税に応じない滞納者には、年度内から差し押さえなどの滞納処分を執行し、今後の自主的な早期完納を促します。

⑥戸籍住民票事務の強化 **継**

町民の生活とまちづくりの基本となる戸籍や住所、印鑑の登録に関する届出とその証明、個人番号カード（マイナンバーカード）に係る事務について、関係法令に基づき適正な処理と個人情報保護に努めます。このほか転入時の手続きを簡素化する異動受付支援システムの運用により、来庁者の利便性向上とコロナ禍における滞在時間の短縮を図ります。

5 財源の調整

行財政の課題解決として、各部署での歳出予算額が提示され、歳入予算額と比較して10億円を上回る予算乖離となりましたが、投資的事業の優先順位付けや経常的経費の抑制による見直し、補助金・有利な起債等の財源確保を行い、予算乖離は3億6,000万円（前年度比+1,100万円）まで圧縮しました。

この収支不足額については、新規事業や重点事業の実施、計画的な設備更新のほか、各種計画の見直し、子育て支援の充実など、将来を見据えた社会的投資となっており、財政調整基金1億9,000万円（前年同額）、公共施設整備等基金1億4,000万円（前年度比+2,600万円）、地域福祉基金3,000万円（前年度比+400万円）の繰り入れをもって、収支均衡を図ります。

予算の執行においては、更なる財源確保と経費節減・効率的執行に努め、決算での基金繰入額の圧縮を図ります。

また、町債発行にあたっては、今後の財政状況や投資的事業の見通しを基に起債計画を更新し、町債残高（借入金残高）及び公債費（借入金返済額）の計画的な管理を行うこととしています。

【 この資料のお問合せ 】

ニセコ町総務課財政係

担 当： 係長 島崎 貴義

業務時間： 8:30 から 17:15 まで

電 話： 0136-44-2121

メー ル： zaisei@town.niseko.lg.jp

